

第 137 回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1-1】駅前ロータリーデザインについて

以前の東海駅ロータリーは、送迎のために自家用車を一時的に停めておける場所が広くて便利だったが、今はタクシーの待機場所としてのスペースに使われており、待機場所があまりない。ラッシュ時などは混雑し、危険である。タクシー待機場所としての利用はほとんど無いので、一般車の待機場所として利用できるようにならないか。

⇒【村長コメント】

ロータリー再整備はやりたいと思っているが、周辺が民間駐車場ということもあり、村で実施することとバッティングしないようにしたいと考えている。タクシーの待機場所について、今までタクシー組合・関係者と調整したことはないので、経緯・取り決めなどの含めて確認してみたいと思う。タクシーの待機利用がそこまで多くなければ、一般車向けの待機場所としての開放もできなくはないと思う。結果については後日連絡する。

【1-2】原子力発電所の今後について

エネルギーのことを考えると早めに稼働した方が良く考えている。

⇒【村長コメント】

事業者としては、まだ安全対策工事が完了していない。周辺地域も含めて、安全対策、防災対策がまとまらないと、その先の話に進んでいかない。安全対策は規制庁、防災対策については内閣府、それぞれに承認される必要もある。それぞれまだやるものが残っている。考えについてはご意見として伺う。

【2-1】ふうあいねっと／ふうあいねっと開催イベントについて

昨年、東日本大震災発生から14年経過の企画として、笠間市の地域交流センター「Tomoa」で障がいがある方のドキュメンタリー映画の上映を行った。県内から100人ぐらい来場があり、好評だった。今年は水戸市民会館で小林憲明の作品展を行う。(3/8,9)小林氏は石巻で津波で流された小さなお子さんの成人式を行いたいという願いを受け、成人になった姿を想像して描くということを行った画家。NHKのドキュメンタリーにも取り上げられた。茨城県内の方に見てもらいたい。村内の公共施設には協力いただき、チラシを置いてもらっている。村長にもぜひ見に来てもらいたい。

また、浪江ネットワークという東海村に避難している方々がおおり、コミセンなどに集合し、活動している。会報は年に3回発行している。

⇒【村長コメント】

作品展については、スケジュールを確認してみる。日曜日開催ということで、どこかのタイミングでは見に行けると思う。

【2-2】浪江町にある土地について

浪江町に自宅や土地を所有している。所有している田んぼの除染が終わり、帰還困難区域が解除された。以前は果樹園や畑として貸出していたが、今は借り手がいない。獣害防止のために、年1回草刈をしているが、1回20万円と費用がかかってしまう。手放すとしても価値はほとんどゼロに近い。飼料作りとして試験的にレッドコーン作りをやった所もあるが、猿や熊の被害に合ってしまう。15年経ってもこの様な事情があるということを知ってほしい。

⇒【村長コメント】

除染は終わっていても、その様な状況にあるということについて理解した。

※ 他4名の方々にご参加いただきました。(コメントは割愛させていただきます。)